



# まきび通信

校訓：夢へ みんなで まっすぐに

岡山県立倉敷まきび支援学校  
学校だより  
令和5年度 3月号



## 【次のステージでも自分らしく輝いて】

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。まもなく卒業式を迎え、小学部・中学部を卒業する皆さんは次の学部へ、高等部の皆さんは社会へと、それぞれ次のステージへ進みます。そして、どの学年の人たちも、4月からは一つ上の学年へ進みます。これまで学んできたことを生かして、次のステージでも自分らしく輝いてくれることを願っています。

私たちの倉敷まきび支援学校も今年10周年を迎え、次のステージに進む時がきました。これまで在籍された先生方や子どもたちが、地域の皆様とともに、10年間かけて築いてこられたものを大切にしながら、さらに発展させ、新たな創造を加えていく時期です。学校のすぐ隣にまもなく完成する「まびふれあい公園」は復興防災公園です。立地を生かして、防災計画に盛り込むとともに、日頃から教育活動に活用して、親しみ育てていきましょう。(3/19には、子どもたちが植樹行事と公園の芝生を植えに行きます。)

倉敷まきび支援学校は、知的部門・肢体不自由部門を併設した学校ですが、来年度からは、両部門の呼び名をA部門(知的部門)・B部門(肢体不自由部門)とします。2部門あることを生かし、合同の学習や行事を計画的に行っていくにあたり、子どもたちの中でもお互いに「A小」「B中」と言った呼び方で呼び合えるほうがよいと考えました。公式な名称は変わりませんが、校内の配付物等では「B小」「A高」といった表現を使用します。名称の使用とともに、部門を超えた合同学習にもご理解・ご協力をお願いいたします。

保護者の皆様には、一年間大変お世話になりました。夢に向かって進む子どもたちが、さらに学びを広げ深めて、ますます輝けますよう、今後ともご支援をお願いいたします。ありがとうございました。

(校長 梶谷 淳子)

## 【コミュニティ・スクール】

2月27日(火)、第3回学校運営協議会を開催しました。

学校自己評価のアンケート結果や学校生活アンケート等について委員の方から「大学等との連携」「人権教育としての性教育を・・・」などご意見をいただきました。その後、三つのグループに分かれて、共通テーマのもと高等部生徒会役員の生徒と初めて懇談をしました。「子どもたちの具体的な声を聞いて良かった」「生徒が自分の夢をしっかりと語れることはすばらしい」など、とても好評でした。

最後に、就労・環境・安全・福祉・教育のグループに分かれ、今年度の反省をもとに、令和6年度の取組を検討し、取組がさらに充実するように次年度の計画を立てました。

委員の方々からは、本校のミッション「生涯にわたって豊かに生活できる児童生徒の育成」について、「自分の良さの自覚の大切さ」や「担当が一人で抱え込むのではなく、チームで・・・」など、今後の学校運営の大切さを示唆いただきました。

コミュニティ・スクールが発足して3年経ちました。「まきびカフェ」、「プランターの配付」、「地域の花壇の管理」等の更なる充実と共に、「真備・船穂総踊り」への参加、小学校・中学校との学校間交流など、新しい取組がありました。令和6年度も、恵まれた地域資源を生かして、児童生徒が、日々の学習で培った力を、校外で発揮し自信をつけると共に、地域貢献を通して自己有用感を高める活動などを深めることの大切さを感じる会でした。

(副校長 小野 浩)

